

2003 年 8 月 19 日

調 整 医 師  
コーディネーター 各 位

財団法人 骨髄移植推進財団  
常任理事 小寺 良尚  
事務局長 大石 源誌

**補足事項の追加説明について（ご依頼）**

- 骨髄採取後酸素飽和度低下を認めた骨髄バンクドナーについて -

拝啓

残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当財団では、標記事項につきまして、骨髄採取日程が決定しているドナーに対して精神的動揺が起こる可能性を考え、対象ドナーに情報提供を行うこととなりました。

対象ドナーに対しましては、各担当コーディネーターが対応してください。

なお、医学的見解についてドナーよりご質問があった場合は、調整医師もしくは採取担当医師にご相談のうえ、対応してください。

以上、別紙資料をご参考いただき必要に応じてご対応の程お願いいたします。

敬具

なお、この件は別紙のとおり 8 月 19 日報道発表することとなりました。

## 【基本的な考え方】

1. 情報提供であり、同意の再確認は行わない。
2. 同意は撤回できないことが前提であるが、万一、撤回したいとの意思表示をされたドナーには、患者の不利益を再説明することは認められる。  
( ご説明書 P.14 第6章 3参照 )
3. 患者の不利益を説明したうえで同意撤回の意思表示をされるドナーに対して患者からの訴訟の可能性について積極的には説明しない。  
( 質問があれば答える )

## 【 8/21 以降の採取予定ドナー】

コーディネーターより情報提供を行います。コーディネート経過により電話 / 郵送等でご対応ください。

補足事項追加分「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例について」、「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」、「骨髄採取後、長期に渡って腰痛が持続している事例について」を使用してください。

ドナーから要望があれば、緊急安全情報「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例」及び「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」をご提示いただいても結構です。

詳細な説明を求められた場合には、採取担当医師に依頼してください。

必要に応じて、面談の調整を行ってください。

ドナーの意思に変化が生じ、コーディネートを終了とする場合は、地区事務局経由でドナーコーディネート部にご連絡ください。

## 【 8/20 以降面談するドナー】

面談時にコーディネーターから情報提供をしてください。また、状況によって電話 / 郵送等でご対応ください。

初期担当は、8月19日開始シート送付分より、補足事項追加資料として同封します。

補足事項追加分「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例について」、「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」、「骨髄採取後、長期に渡って腰痛が持続している事例について」をドナーに渡してください。

ドナーから要望があれば、緊急安全情報「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例」及び「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」をご提示いただいても結構です。

詳細な説明を求められた場合には、調整医師に依頼してください。

以上

## 同封書類と使用方法

- 1．報道発表資料「骨髄採取後酸素飽和度低下を認めた骨髄バンクドナーについて」
  - ・ドナーから要望があれば配布可能です。
- 2．緊急安全情報「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例」及び「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」
  - ・ドナーから要望があれば配布可能です。
- 3．補足事項追加「骨髄採取後、肺脂肪塞栓症が疑われた事例について」、「骨髄採取後、左腸腰部位に血腫を認めた事例について」、「骨髄採取後、長期に渡って腰痛が持続している事例について」
- 4．モニタリング用紙「骨髄採取後酸素飽和度低下を認めた事例に関する問い合わせについて」

採取施設より問い合わせがあった場合にご使用ください。

本件以外でも採取施設より問い合わせがあればご使用ください。